

確信を以て施工を引受け

地下鐵道
第一期完成まで

大倉土木株式會社 横山 信 毅
専務取締役

舊臘廿一日一切の工事を完了し卅日より上野淺草間の一般開通を見た東京地下鐵道は、世間周知の通り東洋に於ける最初の大工事でありました。私の會社が此工事を引受ける決心をしたのは今より約三年前で、當時は大震災後匆々の事であり、殊に地質其他の關係から皆不安がつて其可能性を信ずるものが少なく、事業家側としては一部の人を除く外殆んど自ら進んで手を出す者もなかつた。

× × ×

時に同社の早川氏は多年の研究を提けて各方面を勸説し熱心に其可能なる事又是非實現せねばならぬ事を高唱して居られたので一度會見して同氏の熱烈なる主張に動かされ、東京の行詰つた交通機關の解決は將來地下鐵道によらねばならぬを考へたので茲に大決心をもつて工事費の如きも同社のために特別の便法を講じ、打算を離れて工事一切を引受ける事になつたのである。斯る狀況であつたから當時私の心勞は非常なものであつた。

× × ×

殊に菊屋橋附近は東京市中で最も地盤の軟弱な地點とされて居る處へ地下埋設物の關係が複雑を極めたため難工事となり、浸水實に前後十四回最後迄此地點の處置に苦み通したのである。最初の認定では大正十六年即ち昭和二年六月に竣工する推定で進んだのであるが、實際工事に取り掛つて見るに、監督官廳との關係、用地買収の困難障害家屋の移轉、土捨場の困難設計の變更、職方勞役者及自動



Mr. S. Yokoyama.
One of directors of
The Okura Doboku Ka, Ka. who
is the first contractor for Japanese
subway.

車操縦の難點等種々の障感が突發し、企業者も施工者も共に速やかに解決し難い問題が隨所に起るに云ふ状態で工事の進行を妨げられた、然し此經驗によつて、今後各大都市の地下鐵道設計畫に當つても、工期の豫想が出来而も最も的確な基礎となつて、實施容易ならしめる事であるし、又日本の地下鐵道は日本人の手に依つて完成し得るに云ふ自信を得た事は欣幸に堪へない。兎角不行届ながらも目的を達し貴重なる經驗を得て當初の期待を甚だしく裏切らなかつた事は偏へに企業者側各位の指導と注意の賜であるに衷心感謝の意を表する次第である。

地下鐵道とコンクリート工事

に就て阿部美樹志博士の歌米視察談が本號 38 頁の工事基本知識欄に述べられてあります。 参照を乞ふ。(編輯係)